

コミケビギナーのための 超・速・解 アドバイス



二部制入場も定着してきて、コミケット会場に夕方まで参加者が多く滞在している光景が戻ってきました。でも目の前に見える光景は過去と似ていても、コミケット自体のシステムは過去とは別物と言えるほどに変化しています。

参加者側も逐次セルフアップデート！コミケットと一緒に進化していきましょう♪

■■Quality Of Comiket■■

二部制入場も大きな混乱なく導入が進み、コミケットの参加者は朝から組と午後から組に分かれてきた。コミケットに参加はしたいけれど早朝から並んでまでは……、という人がまた気軽に参加できるようになったことの意義は大きく、そして同時に、朝から参加する人も入場者の分散によって朝の入場待機がその分短くなる恩恵を受けることになった。

参加者がするべき用意も、必要な物をよりコンパクトにまとめて暑さや感染症への対策をしっかりと行うことで、これまでとにかく暑さ対策最優先他は二の次のようだった夏コミでも会場内でより快適に、より安全に過ごすための準備を考えることができる段階に來たと言えるだろう。

■アナタは朝から？午後から？■

C102から導入された入場の二部制化によって、コミケット参加者はコロナ禍以前のように自分の参加目的に合わせて来場時間を選べるようになった。当然、これによって参加者が用意すべき持ち物も早朝からの参加者と、午後からの参加者では異なるものになる。

早朝からの参加者は照りつける真夏の陽射しの下での入場待機があるので、従来通りそれに耐える準備をしていく必要がある。午後から入場する参加者は、来場時間や目的に合わせて適宜参加準備を軽装化することができる。閉会近くまで入場可能なので、もしその頃から来場するのなら、それこそ仕事や学校からビッグサイトに直行しました、という気軽さでも構わないだろう。

逆に、午後入場開始と同時に入場しようというなら、午前中に会場に到着して入場待機列で待機していなくてはならないため、実際には早朝参加者と同様、しっかりとした待機準備が必要となる。

自分がどの時間から参加するのかをよく見極めて、適切な準備を行おう。

●何時からでも共通装備

ここまで読むと、『入場待機時間が短くなった分、持ち物も減って参加がラクになるのか！』と思う方もいるかもしれない。

コミケットに参加するにあたって、何時から入場するかや、サークル／一般／コスプレなどの参加区分にも関係なく、参加者全員に要求されることはただひとつ『家を出て、コミケットに参加し、帰宅するまでの1日を通して元気で無事であること』である。そのためには、健康状態を良好に保つことと、可能な限りトラブルを事前に回避できる用意をしておくことが必要だ。コミケットの参加準備はそのためにある。

さて、それを踏まえて、『入場待機時間が短くなったことで、具体的に何が不要になるのか』を考えてみよう。

そもそも暑いことから待機時間が短くても暑さ対策は必須、同様に待機時間の長短に関係なく、雨対策、感染症対策や体力維持のための準備も必須だ。つまるところ、待機時間が短くなった分持って行く水分量や食料がやや少なくて済むようになった、という程度の話で、参加者1人1人が自分自身の安全で快適な参加のために用意すべき準備装備は、そう大きくは変わらないのだ。ゆめゆめ、ご油断なきように。

